

第3章 歴史文化資源の総合的把握と歴史文化の特徴

1. 文化財調査の状況

本市では、これまでに数多くの文化財調査を実施しており、その結果を調査報告書や文化財年報にまとめている。これまでの文化財調査の全体像を把握することは、今後の文化財行政の推進において、課題の抽出や方針の検討に大変重要であることから、ここで整理しておく。

(1) 埋蔵文化財報告書

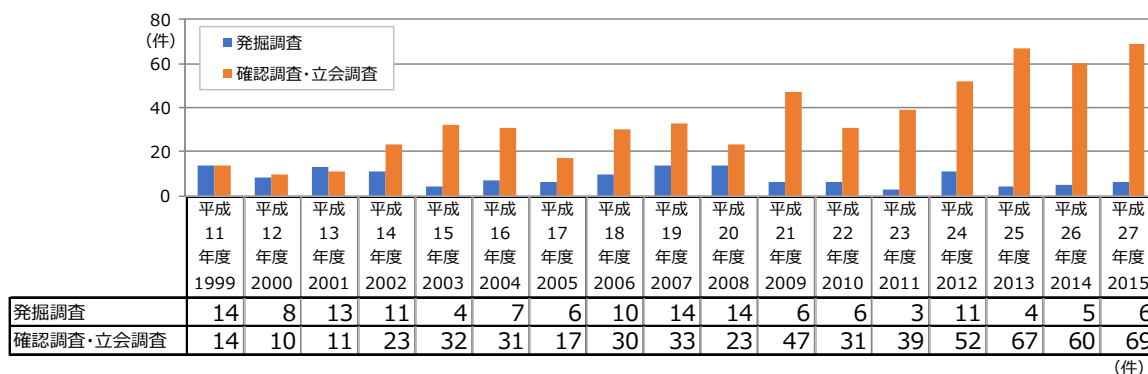
市内には600ヶ所以上の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)があり、開発行為等により、やむをえず現状のまま保存できない場合に、工事に先立ち発掘調査を行って遺跡の記録を残している。1984年から2017年までに、次の報告書を作成している。

■埋蔵文化財報告書一覧

No	報告書名	報告年	地区
1	『牛塚古墳』	1984年	雀宮
2	『竹下浅間山古墳』	1976年	清原
3	『飛山城跡』	1977年	清原
4	『宇都宮市瑞穂野団地遺跡』	1978年	瑞穂野
5	『権現山北遺跡』	1979年	雀宮
6	『水道山瓦窯跡群発掘調査概要報告』	1981年	本庁、宝木
7	『水道山瓦窯跡群』	1982年	本庁、宝木
8	『旭陵遺跡』	1982年	本庁
9	『聖山公園遺跡Ⅰ』 - 昭和57年度発掘調査概報 -	1983年	姿川
10	『宇都宮市埋蔵文化財等遺跡詳細分布確認調査報告書 宇都宮の遺跡』	1983年	
11	『針ヶ谷新田古墳群』	1983年	雀宮
12	『上の原古墳群・向山根遺跡・二ヶ山遺跡』 - 東京電力西宇都宮変電所等建設に伴う埋蔵文化財包蔵地に関する調査報告書 -	1983年	城山、国本
13	『鶴舞塚古墳』	1984年	雀宮
14	『聖山公園遺跡Ⅱ』 - 昭和58年度発掘調査概要 -	1984年	姿川
15	『駒生道下塚』 - 宇都宮市立仮称第58小学校敷地内発掘調査報告 -	1985年	宝木
16	『権現山古墳』 - 北山古墳群調査報告Ⅰ -	1985年	雀宮
17	『稻荷古墳群』	1985年	姿川
18	『聖山公園遺跡Ⅲ』 - 昭和59年度発掘調査概要 -	1985年	姿川
19	『瓦塚古墳群・日満遺跡』 - 長岡ニュータウン建設に伴う埋蔵文化財調査報告	1985年	豊郷
20	『上欠南遺跡』	1986年	
21	『聖山公園遺跡Ⅳ』	1986年	姿川
23	『上の原8号墳』	1987年	城山
24	『聖山公園遺跡Ⅴ』	1988年	姿川
25	『関道遺跡』	1988年	陽南
26	『飛山城跡Ⅱ』 - 飛山城跡追加指定申請に伴う発掘調査報告 -	1989年	清原
27	『竹下遺跡Ⅱ』 - 竹下町自治公民館建設に伴う発掘調査報告 -	1989年	清原
28	『茂原古墳群』	1990年	雀宮
29	『前田遺跡』 - 宇都宮市立上戸祭小学校建設に伴う発掘調査報告 -	1991年	宝木
30	『下桑島西原古墳群』	1992年	瑞穂野
32	『牛塚東遺跡』	1993年	雀宮
33	『下原遺跡』		清原、姿川
34	『天狗原遺跡』	1994年	雀宮
35	『雷電山遺跡』	1994年	陽南
36	『御城跡遺跡』		城山
37	『久部愛宕塚古墳・谷口山古墳・御蔵山古墳』	1995年	平石、豊郷、本庁

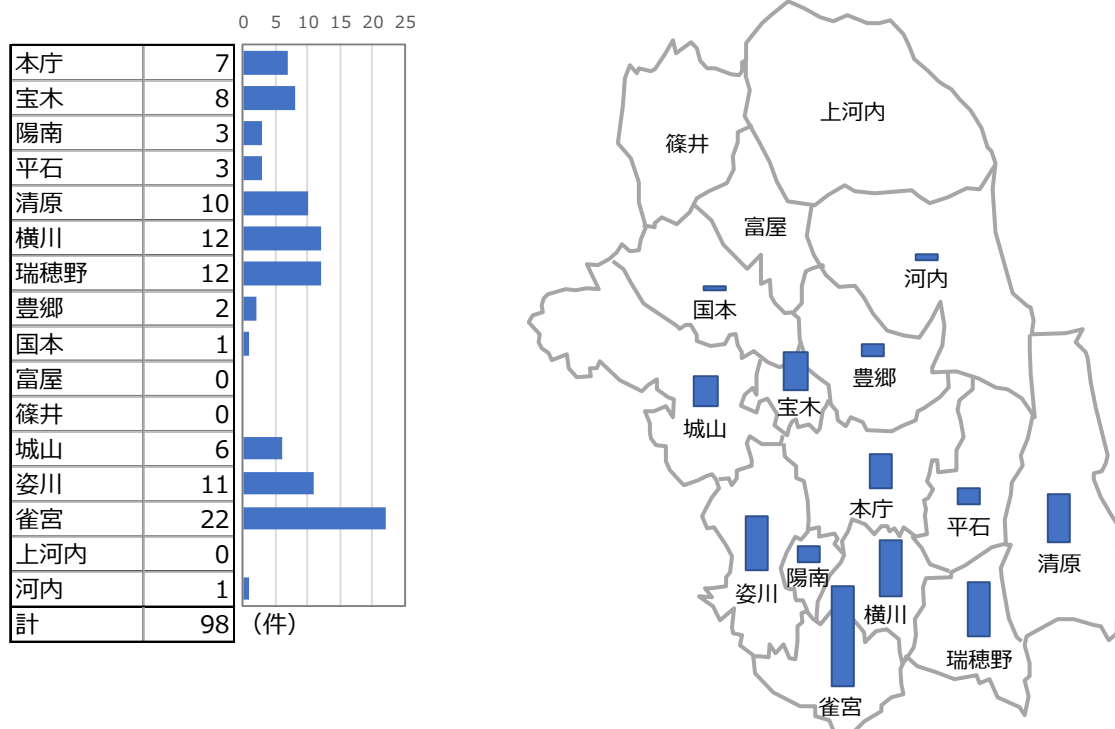
No	報告書名	報告年	地区
38	『飛山城跡第Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ次確認調査概報』－平成4～6年度－	1996年	清原
39	『城南3丁目遺跡』	1996年	横川
40	『塚山古墳群Ⅱ』		姿川
41	『飛山城跡第Ⅳ次確認調査概報』	1997年	清原
42	『多気城跡』－林道東多気線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査－	1997年	城山
43	『上野遺跡』－推定東山道関連遺跡－	1998年	平石
44	『飛山城跡Ⅲ』	1999年	清原
45	『長坂天王寺遺跡』	2001年	城山
46	『西刑部古屋原遺跡』	2002年	瑞穂野
47	『上神主・茂原官衙遺跡』	2003年	雀宮
48	『塚山西古墳 塚山南古墳』	2003年	姿川
49	『本村遺跡(弥生編)』	2004年	横川
50	『本村遺跡(中・近世編)』	2005年	横川
52	『前田遺跡上戸祭小学校東地区』	2005年	宝木
53	『磯岡北遺跡』	2005年	横川
54	『砂田遺跡』	2005年	横川
55	『立野遺跡(A地区)』	2005年	雀宮
56	『西下谷田遺跡－弥生・古墳時代前記編－』	2006年	雀宮
58	本村古墳群・本村遺跡	2007年	横川
59	西刑部西原遺跡	2007年	瑞穂野
60	砂田姥沼遺跡	2007年	横川
61	辻の内遺跡	2007年	姿川
62	砂田姥沼遺跡(C区)	2008年	横川
63	中島笹塚遺跡(A区)・西刑部西原遺跡(B区)	2008年	雀宮、瑞穂野
64	砂田姥沼遺跡(B区)	2008年	横川
65	西下谷田遺跡Ⅱ(古代編Ⅱ)	2006年	雀宮
66	宇都宮城	2008年	本庁
67	砂田姥沼遺跡(D区)	2008年	横川
68	みずほの台遺跡群	2008年	瑞穂野
69	みずほの台遺跡群Ⅱ	2008年	瑞穂野
70	砂田姥沼遺跡(E区)	2008年	横川
71	姿川第一小南遺跡	2008年	姿川
72	大日塚古墳	2008年	雀宮
73	みずほの台遺跡群Ⅲ	2008年	瑞穂野
74	竹下遺跡 第Ⅷ次調査	2010年	清原
75	平出免の内台遺跡	2010年	平石
76	西刑部西原遺跡(E区)	2010年	瑞穂野
77	八幡山古墳群1号墳・大塚古墳群	2011年	本庁、宝木
78	笹塚古墳	2012年	雀宮
79	多気城跡Ⅱ・岡本城跡	2012年	城山、河内
80	針ヶ谷新田遺跡	2013年	雀宮
81	西の内遺跡	2013年	姿川
82	北の前遺跡	2013年	宝木
83	砂田姥沼遺跡(F区)	2013年	横川
84	茂原北原遺跡(B区)	2013年	雀宮
85	竹下遺跡(第Ⅸ次調査)	2014年	清原
86	西刑部西原遺跡(F区)	2014年	瑞穂野
87	大塚古墳群(B区)	2014年	宝木
88	西刑部西原遺跡(H区)	2015年	瑞穂野
89	西刑部西原遺跡(G区)	2015年	瑞穂野
90	宇都宮城跡 ー平成24年度・25年度調査ー	2015年	本庁
91	茂原北原遺跡(C区)	2015年	雀宮
92	上神主・茂原官衙遺跡Ⅱ	2015年	雀宮
93	中島笹塚遺跡(B区)	2015年	雀宮
94	おしめ尽遺跡	2016年	陽南
95	二軒屋遺跡・芋内遺跡	2016年	雀宮
96	溜西南遺跡	2017年	雀宮

■埋蔵文化財調査の実施件数の推移



- ✓ 近年、発掘調査の件数が絞り込まれてきている一方で、確認調査・立会調査が年間60件前後と増えてきている。

■埋蔵文化財調査の地区分布



- ✓ 埋蔵文化財調査が行われている地区は、雀宮、横川、姿川など南部のエリアや、清原、瑞穂野など東部のエリアに多い。
- ✓ これは、南部や東部において、開発工事が多かったことを示しているとともに、市の南部・東部エリアに古代の遺跡が多く分布するという地形的な特徴を示しているとも言える。

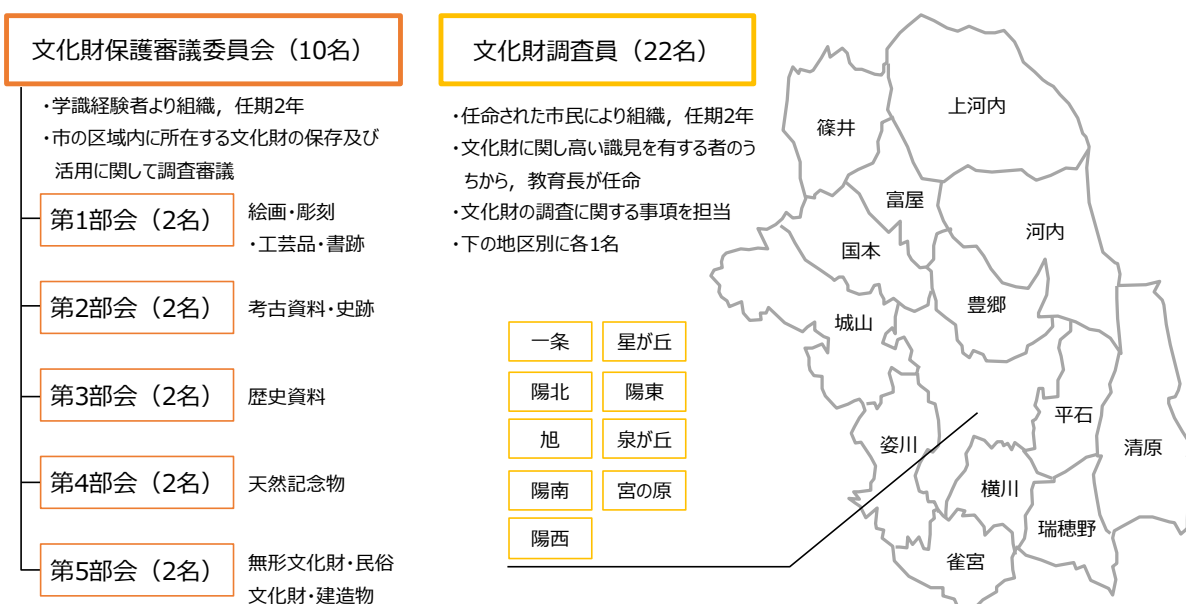
(2) 課題別一斉調査

本市では、文化財調査員を設置し、市内に所在する文化財の発見と調査、指定文化財の現況確認調査を行うとともに、毎年特定のテーマを設定し、文化財調査員による一斉調査を行っている。これまでに実施した調査は次の通りである。

■文化財調査員による課題別一斉調査

No	調査名	調査年
1	宇都宮の民俗	1976年度
2	宇都宮の民家と屋並	1977年度
3	宇都宮の手仕事	1978年度
4	宇都宮のいしづみ	1979年度
5	宇都宮の名木	1980年度
6	宇都宮の民話	1981年度
7	宇都宮の祭りと芸能	1982年度
8	宇都宮の古道	1983年度
9	宇都宮の絵馬	1984年度
10	宇都宮の旧跡	1985～1986年度
11	宇都宮の農具	1987年度
12	宇都宮の金属工芸	1988年度
13	宇都宮の民間信仰	1989～1990年度
14	第2次名木調査	1991年度
15	第2次民家調査	1992年度
16	先人墓所	1993～1994年度
17	宇都宮の石造建造物	1995年度
18	宇都宮市近代遺産調査	1996年度
19	宇都宮の神社調査	1997～1998年度
20	宇都宮市戦災記録保存事業	1999～2000年度
21	宇都宮の近代化遺産	2001年度
22	宇都宮の年中行事	2002～2003年度
23	宇都宮の堂宇・仏像調査	2004～2006年度
24	宇都宮の神輿・宇都宮の祭礼	2007～2008年度
25	宇都宮の近世以前の土木遺産調査	2009～2010年度
26	有形文化財の震災被害調査	2011年度
27	文化財表示板調査	2012年度
28	第2次石造建造物調査	2013～2014年度
29	道路関連遺産調査	2015年度

■文化財関係の調査体制



(3) その他の調査

その他に、天然記念物関連の調査や、根古谷台遺跡、飛山城跡、旧篠原家住宅、大谷の景観など、主要な文化財について各種調査や計画策定を行っている。また、とびやま歴史体験館での年2回の企画展において、各回のテーマに応じた市民向けの分かりやすい解説冊子を発行している。

■その他の調査及び報告書等一覧

No		調査名	発行年
1	自然	宇都宮市所在指定天然記念物 現況調査報告書	1984年
2		宇都宮市指定天然記念物調査報告書 - 昆虫 -	1993年
3		宇都宮市の水辺の生物 I - 池沼・湧水・湿地 -	1996年
4	根古谷台	聖山公園内「遺跡の広場（根古谷台遺跡）」	1988年
5		聖山公園内「遺跡の広場」保存整備事業基本計画報告書	1988年
6		よみがえる太古 うつのみや遺跡の広場	1992年
7		よみがえる太古 うつのみや遺跡の広場	1991年
8	飛山城関連	史跡飛山城跡保存整備構想及び同城跡に関する基礎資料	1987年
9		史跡飛山城跡保存整備基本計画	1988年
10		史跡公園「飛山城跡」整備基本計画	1999年
11		史跡公園「飛山城跡」整備事業に係る自然環境調査報告書	1996年
12		シンポジウム古代国家とのろし	1996年
13	家旧住篠原宅	旧篠原家住宅保存調査報告書	1996年
14		旧篠原家住宅保存修理工事報告書	2000年
15		旧篠原家住宅文庫蔵保存整備工事報告書	2004年
16	表示	宇都宮の軌跡	1997年
17		宇都宮の軌跡 改訂版 城下町宇都宮を訪ねて	1999年
18	大谷	「大谷の景観」調査報告書	2004年
19		大谷の文化的景観の保存・活用事業報告書	2006年
20		石のまち大谷の文化的景観保存計画報告書	2008年
21		宇都宮市 屋台・天棚等調査報告書	1997年
22		うつのみやの空襲	2001年
23		上神主・茂原官衙遺跡保存整備基本構想	2006年
24		宇都宮城のあゆみ	2007年
25	とびやま歴史体験館	【第1回】栃木の城シリーズ① 宇都宮氏一族の城	2005年
26		【第2回】中世下野の三都物語 ～宇都宮・足利・小山～	2006年
27		【第3回】栃木の城シリーズ② 下野南部の城	2006年
28		【第4回】宇都宮氏を支えた人・物・金	2007年
29		【第5回】栃木の城シリーズ③ 下野北部の城	2007年
30		【第6回】烽と東山道	2008年
31		【第7回】栃木の城シリーズ④ 日立西部と下野南東部の城	2008年
32		【第8回】東国中世の建物を考える	2009年
33		【第9回】栃木の城シリーズ⑤ 東国戦国期の石積・石垣の城	2009年
34		【第10回】鬼怒川流域に花開く縄文文化	2010年
35		【第11回】栃木の城シリーズ⑥ 下野北西部の城	2010年
36		【第12回】古墳時代の幕開け	2011年
37		【第13回】栃木の城シリーズ⑦ 鬼怒川流域の中世城館跡	2011年
38		【第14回】笹塚古墳とその時代	2012年
39	企画展	【第15回】栃木の城シリーズ⑧ 掘り出された宇都宮城跡	2012年
40		【第16回】うつのみやのハニワ大集合	2013年
41		【第17回】栃木の城シリーズ⑨ 下野の近世城郭	2013年
42		【第18回】竹下浅間山古墳とその時代	2014年
43		【第19回】百人一首ゆかりの宇都宮頼綱とその時代	2014年
44		【第20回】文字資料から見た宇都宮の古代	2015年
45		【第21回】上神主・茂原官衙遺跡とその時代	2016年
47		【第23回】見て学ぶ!地図で知る宇都宮の歴史	2017年

2. 歴史文化資源の種類と特性

(1) 宇都宮市の歴史文化資源の把握方針

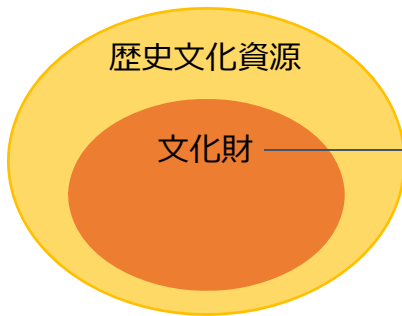
ア 歴史文化資源の定義

従前の「文化財」というワードからは、指定文化財を想起してしまいがちなことから、本市では、「文化財」をより広い視点で捉えるために、「歴史文化資源」という用語を用いることとし、歴史文化資源の定義を次のように定めた。

■「歴史文化資源」の定義

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成されてきたモノやヒト、コトで、市民共有の価値を有するもの

■本構想における用語の概念



※「文化財」の定義

- ・文化財保護法に規定されるモノやヒト、コト
- ・学術的評価のもと現代の行政機関が保護する必要があると認めるモノやヒト、コト

イ 歴史文化資源の把握の方針

本市に所在する歴史文化資源を幅広く網羅的に捉えるために、各種資源は「空間資源」と「生活資源」により構成されるものとして捉え、下記のような枠組みを念頭に収集することとした。さらに資源を収集する中で、資源の種類を具体的に認識できるよう、細分類を設定していくこととした。

■総合的把握の方針

空間資源	不動産として土地に根を下ろして動かないモノやコト 地図上で確認できるもの
自然的空間要素	地形・河川・植生など自然の営みによって形成されたもの
歴史的空間要素	道・建造物など人類の営みによって形成されたもの
生活資源	空間資源を舞台として展開するもので、人の営みによって生じる 動産であるモノや目に見えない無形のコトなど
ヒト、生き物	ヒトや生き物に関する要素
コト（無形要素）	目に見えないコトに関する要素
モノ（有形要素）	目に見えるモノに関する要素
記録・情報（情報要素）	情報として価値が認められる要素

(2) 総合的把握の方法

総合的把握の方針に基づき、次の方法で歴史文化資源を収集した。

● 既存文献からの洗い出し

宇都宮市の有する既存文献を参照し、掲載されている歴史文化資源の洗い出しを行った。参照した文献名および抽出した歴史文化資源の件数は以下のとおりである。

● 市民ワークショップによる発掘

市民が大切に思う「宝」を広く発掘する方針に基づき、市民ワークショップを実施した。市民ワークショップにおいて市民から挙げられた「宝」は、文化財としての指定・未指定を問わず、既存文献から洗い出した歴史文化資源を補うものとして、データベースに追加した。

(3) 既存文献からの洗い出しによる資源発掘

本市では文化財調査員による特定テーマ調査を毎年継続的に行うなど、各種歴史文化資源を調査した文献が豊富にあることから、下記にあげる文献を参照し、歴史文化資源の抽出をおこなった。

■ 参照した文献名および抽出した歴史文化資源

所管	形態	文献名	発行年	件数 (件)	所管	形態	文献名	発行年	件数 (件)		
市教育委員会	文化財シリーズ	宇都宮の民俗	1978年	56	県教育委員会	書籍	栃木県歴史の道調査報告書第一集（日光道中・日光道中壬生通り・関宿通り多功道）	2008年	151		
		宇都宮の民家と家並	1979年	66				栃木県歴史の道調査報告書第二集（日光例幣使道・奥州道中）	2011年	127	
		宇都宮の手仕事	1980年	8			地区		書籍	河内ふるさと探訪	2000年
		宇都宮のいしぶみ	1981年	42				しのいの散歩道			44
		宇都宮の名木	1982年	160				陽南三地区の歴史		2009年	40
		宇都宮の民話	1983年	94				わたしたちの姿川		2013年	36
		宇都宮の祭りと芸能	1984年	195	サイト	ふるさと姿川地区マップ	2017年時点	25			
		宇都宮の古道	1985年	34	市他部署	サイト	まちかど情報マップ	2017年時点	299		
		宇都宮の絵馬	1987年	50		データ	うつのみや百景	2010年時点	155		
		宇都宮の旧跡	1988年	180			まちなみ景観賞	2015年時点	34		
		宇都宮の農具	1991年	46	書籍	写真でつづる宇都宮百年	1996年	294			
		宇都宮の金属工芸	1993年	144		うつのみや生きものつながりプラン	2016年	39			
		宇都宮の民間信仰	1993年	57							
		宇都宮の石造建造物	1997年	182							
	マップ	文化財マップ	2010年	213							
書籍	宇都宮市屋台・天棚等調査報告書	1997年	79								
	河内町の屋台と天棚	2007年	30								
データ	文化財データベース	2017年時点	309								
	宇都宮の神社	1997年	295								
	宇都宮市文書目録		472								
その他	宇都宮佛教会百年誌	1987年	75								

※件数には重複した資源も含む

(4) 市民ワークショップの開催による資源発掘

本市の歴史文化資源に深く携わる方々の思いや意見を伺い、基本構想策定に反映させていくため、市民ワークショップを開催した。また、ワークショップに先立ち、参加者に対する事前アンケートを行い、「地域の宝トップ 10」として、地域にある「誇らしく、大切に、これからも大切にしていきたいと思うもの」を10個まで挙げてもらい、市民が大切に思っている資源を収集した。

ア 実施概要

地区会を4回、最後に全体会を開催した。歴史文化に関わる保存活動団体に所属する人を対象に集まっていたかとともに、若い世代の視点として学生にも参加を依頼した。

■ワークショップのテーマ

宇都宮での暮らしと歴史文化資源をつなぐ、あるいは、歴史文化資源でつながる

地域で歴史文化資源の保存活動を行う、地域の歴史文化資源に精通する市民と、地域の大学に通う学生に参加してもらい、異なる世代が共に学び合うワークショップとすることで、歴史文化資源がより多くの市民に愛されるために必要な活用方法を共に検討する。

■ワークショップの開催概要

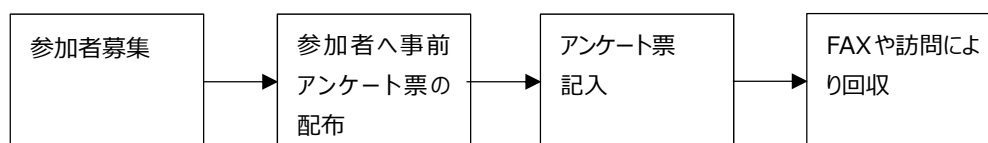
【地区会】

	南西部	北部	中央部	東部
地区	姿川, 雀宮, 陽南, 横川	城山, 国本, 富屋, 篠井, 上河内, 河内	本庁, 豊郷, 宝木	平石, 瑞穂野, 清原
日時	2016年12月3日(土) 13:00~16:00	2016年12月17日(土) 13:00~16:00	2017年1月15日(日) 13:00~16:00	2017年1月21日(土) 13:00~16:00
場所	姿川地区市民センター	上河内民俗資料館	宇都宮市教育センター	とびやま歴史体験館
参加者	保存団体等 10名 公募市民 2名 学生 2名	保存団体等 15名 公募市民 5名 学生 2名	保存団体等 11名 公募市民 2名 学生 3名	保存団体等 14名 公募市民 3名 学生 3名

【全体会】

日時	2017年2月11日(土・祝) 13:00~16:00
場所	本庁舎 14 大会議室
参加者	保存団体・研究会等 26名, 公募市民 15名, 学生 3名

■事前アンケートの配布・回収方法



※事前アンケート票は資料編に掲載

イ 市民から挙げられた歴史文化資源

● 南西部（姿川，雀宮，陽南，横川）

「古墳」が数多く挙げられた。また、「遺跡・城跡」「神社」など、幅広い時代の資源が挙げられるとともに、地域の生活に根ざした行事など、見落とされがちな資源にも、目を向けていることが分かった。

83件中

第1位	古墳	21件
第2位	神社	14件
第3位	遺跡・城跡	12件
第4位	仏像	7件
	天棚・祭り・行事	7件

第1位	古墳	21件
茂原古墳群 (3件)		東谷古墳群 (3件)
十里木古墳石室 (3件)		愛宕塚古墳 (2件)
稲荷古墳群 (2件)		鶴塚古墳 (2件)
亀塚古墳 (2件)		塚山古墳
下砥上第一古墳 (姿川中央小内)		
横川地区の古墳群と集落跡		

第2位	神社	14件
雀宮神社 (3件)		綾女稲荷神社 (2件)
稲荷神社 (砂田)		大山祇神社 (2件)
鶴田高お神社		瀧尾神社
雷電神社		菅原神社
安産稲荷神社 (兵庫塚)		
中世に建てられた神社・仏堂関連史跡		

第3位	遺跡・城跡	12件
茂原権現山北遺跡 (3件)		
東谷権現山遺跡 (3件)		
根古谷台遺跡 (2件)		
根古谷 (犬飼) 城跡 (2件)		
横田城跡とその歴史		
猿山城跡 (下栗)		

第4位	仏像	7件
茂原観音 (3件)		
十九夜観音		
八幡様		
真言宗観行院の祭仏 (上横田)		
正雲山観音寺本尊 (下栗2丁目)		

第4位	天棚・祭り・行事	7件
天棚 (鶴田、西川田、砥上、下欠)		
鶴田天棚および天祭		
鶴田羽黒神社および梵天祭		
稲荷神社の初午		
天棚 (上横田、台新田、下栗1丁目)		
虫追い (尾板本町)		
まつりとお囃子		

3件以下の資源

83件中

雀宮宿仮本陣芦谷家	3件
東山道跡	3件
川上澄生	2件
戦士死十七名霊碑	2件
鶴田駅跨線橋	2件

兵庫塚安産稲荷道	1件
野口雨情の旧居と碑	1件
鶴田沼 (ひょうたん池)	1件
旧陸軍射的場	1件
鈴木源之丞供養塔	1件
陽南3地区の歴史 (文献資料)	1件
東原町の広場のケヤキの木	1件
陽南運動場 (東武線西) の松林	1件
鶴田駅西環状線近くの栗原邸	1件
横川地区の大字と小字	1件

※太字は2件以上の回答があった資源

● 北部（城山，国本，富屋，篠井，上河内，河内）

「自然景観」「祭礼」「信仰の場所」など、人々が自然とともに歩んできた歴史をうかがわせる歴史資源が数多く挙げられた。また、食文化も資源と捉えていることが分かった。

119件中

第1位	自然・景観に関するもの	28件
第2位	祭礼に関するもの	16件
	信仰の場所	16件
第4位	建造物	15件
第5位	遺跡・遺構	11件

第1位	自然・景観に関するもの	28件
コウヤマキ (3件)	静桜 (2件)	エドヒガン
智賀都神社の大げやき (2件)	下小倉町の大杉	
国本西小学校のナンキンハゼ	上徳次郎岡本宅大ケヤキ	
大谷石の景観、石の里大谷 (2件)		
古賀志山塊とその周辺、桜の里古賀志 (2件)		
大谷の奇岩群 御止山・越路岩 御岳山の岩肌と眺望		
奇岩「だるま岩」 がんこ岩 篠井・富屋連峰 (宇都宮アス)		
河川 (九郷半・西鬼怒・山田・御用・鬼怒川) 東西弁天沼		
奈坪川 (源流)		鬼怒川 (自然と川魚も含む)
田園風景 (豊かな自然)		緑豊かな水田地帯と風景
富屋ホテルの里		森林公園

第2位	祭礼に関するもの	16件
石那田八坂神社 天王祭 付祭屋台 山車 (3件)		
宗円獅子舞 (2件)		
飯山の獅子舞	獅子舞 (保存する農村)	
上横倉の獅子舞	羽黒山大祭	
天棚と天祭	智賀津神社付祭	
屋台と天棚	仁良塚彫刻屋台	
徳次郎の屋台祭りと彫刻屋台		
東大堀地区に伝わる「辻切り」		
村々に祀られる社や祠を守る人々の魂		

第2位	信仰の場所	16件
羽黒山神社 (2件)	日枝神社 (2件)	
多気山 (2件)	大谷寺	
薬師堂	密嶽神社	
伝法寺	愛宕神社	
神明神社	橋くぐり地藏堂	
山神社	清泉寺	
下岡本地の個人宅にある権現堂・薬師堂ほか		

※太字は2件以上の回答があった資源

第4位	建造物	15件
岡本家住宅 (2件)	渡辺邸 (2件)	
芦沼町の大谷石建造物群 (2件)		
上田町の玉石積み水路と大谷石建造物群 (2件)		
小野口家	旧大谷公会堂	
大久保石材店	石造り荒針公民館	
屏風岩石材二棟の石蔵	徳次郎石造りの建造物	
白沢宿		

第5位	遺跡・遺構	11件
徳次郎城跡	岡本城跡	
旧東北本線跡	逆木洞門跡	
謡辻鉦山跡	石那田発電所跡	
野州人車鉄道軌道路及び橋脚跡		
徳次郎石 石山 (石切場跡)		
岡本河岸		
宇都宮市水道今市水系第六接合井		
宝木用水 (新川) の遺構		

このほか挙げた「地域の宝」

仏像・信仰の対象		
庚申塚 (2件)	平和観音	
大谷寺 (磨崖仏) (千手観音、阿彌陀三尊、釈迦三尊、薬師三尊)		
岩本の磨崖仏	木造如来座像	
木造虚空蔵菩薩立像	篠井神祠	鞍掛峠道祖神
街道		
街道 (奥州・義経・義家・鎌倉・辰・東山道)		
東山道 (釜根遺跡)	辰街道	
歴史的な古道等		

食文化		
新里葱	食文化 (水、小倉米、ユズ)	
美味しい水と美味しいお米、それに野菜の産地		
さらに…		
高尾神社古墳	東海寺の銅版曼荼羅	民話
大谷資料館	大谷石採掘の道具と技術	金庫唄
逆面地区 (獅子舞・逆さ井戸・逆面城跡・他)		
狐裏タキ二天 (彫刻) タキ二天 (絵画)		
地名：多気山周辺の宇都宮城下に係る小字、龍川、兜川等の多気城跡に係る歴史的地名、丹賀・三本松・稻荷山等の大谷石採掘に係る小字		
ろまんちっく村の道の駅	釜川機供養碑	八内八門九の堂
多気城をめぐる歴史	藤原利人の墓	亀井六郎茂清の墓

● 中央部（本庁、豊郷、宝木）

「神社・寺」「建造物」といった不動産や、「自然（山、河川、緑地）」が数多く挙げられた。また、文化や商業、近代化に関する多彩な文化資源も挙げられた。

76件中

第1位	神社・寺	20件
第2位	建造物	10件
	自然（山、河川、緑地）	10件
第4位	祭り	9件
第5位	旧跡	7件
第6位	伝説・説話	5件
第7位	古墳	4件
第8位	文化のまち	3件
第9位	商業のまち	2件
	近代のまち	2件

第1位	神社・寺	20件
二荒山神社 (4件)		清巖寺 (鉄塔婆) (4件)
一向寺 (汗かき阿彌陀) (3件)		宝蔵寺 (2件) 大谷寺 磨崖仏 (1件)
延命院 (トチノキ) (2件)		興禅寺 (1件) 善願寺 (1件) 祥雲寺 (1件) 蒲生神社 (1件)
第2位	建造物	10件
旧篠原家住宅 (2件)		栃木県庁舎 (昭和館) (1件) 戸祭配水場 (1件)
カトリック松が峰教会聖堂 (1件)		
日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会礼拝堂 (1件)		
白楊高校内 旧講堂 (1件)		白楊高校内 旧正門 (1件)
野口雨情旧居 (1件)		大谷石蔵 (1件)
第2位	自然 (山、河川、緑地)	10件
八幡山 (2件)		戸祭山緑地 (1件) 元陸軍射撃場跡地 (1件)
日本競馬会敷地 (1件)		南北交流植物の混成林・豊かな自然 (1件)
田川など河川 (1件)		仏舎利塔 (1件)
北山霊園山頂からの風景 (1件)		田川、山田川の遊歩道 (1件)
第4位	祭り	9件
菊水祭 (1件)		天王祭 御神輿 (1件)
おたりや祭 (1件)		太々神楽 (1件) 瓦谷の神楽 (1件)
東地域のまつり (1件)		大曾の夏祭りとどんど焼き (1件)
もう一つの梵天祭り (1件)		堀米の田楽舞伝承 (1件)

※太字は2件以上の回答があった資源

第5位	旧跡	7件
宇都宮城址、城下町 (2件)		
山門・官修墳墓 (報恩寺) (1件)		
元今泉地内 富士山神社内祠及び灯笼 (1件)		
元今泉地内 花蔵院内石塔、基石群 (1件)		
日光街道と奥州街道とその脇街道 (1件)		
旭町大いちょう・二荒山神社いちょう (1件)		
第6位	伝説・説話	5件
忠臣蔵の手本 浄瑠坂の仇討 (興禅寺) (1件)		
御室観音堂・大豆三粒の大仏 (善願寺) (1件)		
赤門と枝源五郎 (1件)		
おしどり塚の言い伝え (1件)		
黄ひな伝説 (1件)		
第7位	古墳	4件
大塚古墳 (1件)		長岡百穴古墳 (1件)
瓦塚古墳群 (1件)		北山古墳群 (1件)
第8位	文化のまち	3件
雨情ゆかりのまち (1件)		版画のまち (1件) 歌の都 (1件)
第9位	商業のまち	2件
市 (いち) (1件)		老舗 (1件)
第9位	近代のまち	2件
桜十文字周辺 (1件)		大谷鉄道跡地 (1件)

このほか挙げた「地域の宝」

人
東小学校 (東校)
ひくべ細工

● 東部（平石、瑞穂野、清原）

「神社・寺、仏像」「天棚・祭り・伝統芸能」といった信仰や祭礼に関する資源が数多く挙げられた。このほか、花火大会や景色など日常的な場面にも資源が見出されていることが分かった。

95件中

第1位	神社・寺、仏像等	24件
第2位	天棚・祭り・伝統芸能	13件
第3位	城跡	12件
	自然・樹木・緑地	12件
第5位	碑、伝説	8件
第6位	河岸跡	6件
第7位	戦跡・近代遺産	5件
	建造物	5件
	古墳、出土品	5件

第1位	神社・寺、仏像等	24件
広琳寺	木造文珠菩薩坐像、木造阿弥陀如来坐像 銅造大日如来坐像 (6件)	
同慶寺	木造訶利帝母座像、銅鐘 (5件)	
聖観音菩薩立像 (大関観音)	(4件)	
鉄造阿弥陀如来立像 (大乘寺内)	(2件)	
金剛定寺の銅造宝篋印塔	(2件)	
龍神社 (竹下町)	(1件)	野高谷薬師堂 (野高谷町) (1件)
湯殿山権現 (道場宿町)	(1件)	三嶋神社 (野高谷町) (1件)
平出雷電神社の城守稲荷	(1件)	

第2位	天棚・祭り・伝統芸能	13件
天棚 (4件)	下川岸の天祭 (1件)	
下柳田南地区の「百味祭」	(1件)	
金井稲荷神社の祭	(1件)	
鬼怒の船頭唄等の郷土民俗・芸能	(1件)	
源太踊り (坂戸町)	(1件)	
安婆大杉様 (あんばおおすぎさま)	(1件)	
清原地区のお囃子	(1件)	
どんと焼	(1件)	
人々の風俗、民間の習わし等	(1件)	

第3位	城跡	12件
飛山城跡 (6件)		
刑部城跡 (4件)		
平出城跡 (2件)		

第3位	自然・樹木・緑地	12件
柳田緑地内クロコムラサキ及びその生育地	(3件)	
広琳寺のシダレザクラ	(3件)	
金剛定寺のカヤ	(2件)	
上籠谷町のフジ	(1件)	
鬼怒川河川敷のカワラノギクの生息	(1件)	
成願寺大銀杏	(1件)	
鬼怒川両岸の緑地	(1件)	

※太字は2件以上の回答があった資源

第5位	碑、伝説	8件
芳賀氏 (清原氏) 累代の墓碑	(3件)	
吉良八郎の碑	(2件)	
成願寺 安達藤九郎の墓 (供養塔)	(1件)	
粉摺騒動	(1件)	
清原の伝説	(1件)	

第6位	河岸跡	6件
鬼怒川の水運、河岸関係	(4件)	
板戸河岸跡	(2件)	

第7位	戦跡・近代遺産	5件
清原の戦跡 (清原飛行場跡、掩体壕等)	(3件)	
干波野	(1件)	
大崎商舎跡	(1件)	

第7位	建造物	5件
鬼怒橋 (2件)	喜楽橋 (1件)	
田崎氏宅 大谷石の土蔵	(1件)	
田崎氏宅 長屋門	(1件)	

第7位	古墳・出土品	5件
竹下浅間山古墳	(2件)	
飯塚古墳	(1件)	清原の古墳 (1件)
「烽家」墨書土器	(1件)	

このほか挙げられた「地域の宝」

うつのみや花火大会	(1件)
清原北小学校	(1件)
西刑部町 みずほの自然の森公園	(1件)
平石の柳田地区から鬼怒川越しに見る飛山の景色	(1件)
清原地区の文化財マップ	(1件)

ウ ワークショップで挙げられた意見

地区会および全体会を通して、本市の歴史文化資源の保存活用について、次のようなアイデア・意見があげられた。

■歴史文化資源の保存活用に向けたアイデア・意見

分類	抽出意見
① 資源の価値を 明らかにする ことが重要	<ul style="list-style-type: none"> ● 「古さ」や「珍しさ」など、文化資源の希少性に対する根拠を明確にすると、多くの人に興味をもってもらえるのではないかと。 ● 古い地名を見直すなど、文化資源が有する価値・魅力を再整理する。 ● 人の興味を引くような目玉となる文化資源を抽出（ブラッシュアップ）する。 ● 何のためのものであったのか、文化資源本来の意味合い・意義や情報を整理していくと良い。
② いかに魅力を 伝えるかが 重要	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の若年層およびその家族（親世代）を対象に、興味を喚起させる方法を検討していく（文化資源を次世代につなげるために）。 ● 大学生の興味を喚起できるような文化資源の伝え方を検討し、大学生を最大限に活用する。 ● 市内の児童・学生に伝えるために、学校や先生の理解と育成を促進する。 ● 地域学やふるさと学習の手法を取り入れながら、伝え方を検討する。 ● 周知ツール（チラシ、パンフレット等）を活用して全市民へ周知する。 ● 文化資源ウォーキングマップなど、楽しみ方を伝えるツールを作成する。 ● 「マニアックすぎてわからない」ため、相手に興味を持たせる伝え方を検討する。 ● 常に身近に感じてもらう、親しみを持ってもらうための伝え方を検討する。 ● 文化資源そのものではなく、それにまつわる人物に焦点を当てるなど、伝えやすいストーリーにして紹介する。 ● 市内外の研究機関に文化資源を研究対象としてもらい、市民の興味を喚起する。
③ 多様な主体 の係わりが 重要	<ul style="list-style-type: none"> ● 保全・維持に費用がかかる文化資源に対して、クラウドファンディングや企業協賛など、新たな資金収集の方法を検討する。 ● 地区内だけではなく、地区同士が連携・協力して、地域全体で保全・維持していく。 ● 出土した文化資源だけでなく、出土した場所も整備する。 ● 資料館を整備する。 ● リーダーの育成や日頃のネットワークづくりが重要。 ● 文化資源を所有する人や、文化財調査員、宇都宮市など、関連する人の役割分担を整理し、それぞれの負担を軽減する（体制整備）。
④ 活用の推進 が重要	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会見学やボランティア活動など、市内の児童・学生に「教育の場」として提供する。 ● 触れない・見られない文化資源に触れられる機会を創出する。 ● 映画やミュージカル、プロジェクションマッピングなど、これまでの文化資源からは想像していない異文化とコラボレーションする。 ● 文化資源周遊コースを整備する。 ● 文化資源を地域づくりのきっかけとして位置づける。

エ ワークショップの総括

本ワークショップを通して、次のような市民の現状が明らかとなった。

● 地域の歴史文化資源に深い愛情・愛着をもつ市民が多く存在し、活動の場、活躍の場を求めている

ワークショップ参加者は地域が保有する歴史文化資源に対し非常に深い愛情・愛着を持ち、日常の生活の中で、自分ごととして関わりを持っていることが明らかとなった。また、歴史文化に精通している参加者が多い中で、隣の地区の資源については知らないことが多く、ワークショップを通じて、地区をまたいで周知、共感することができたことを喜んでおり、このような活動の場、活躍の場を設けることに高い意欲が感じられた。

● 歴史文化資源保存活動に参加している市民と一般市民を比べると、歴史文化に対する知識・理解・思いに大きな差がある

地域の歴史文化資源保存活動に参加している市民が当たり前のように知っている資源について、一般市民には全く知られていなかったり、一般市民が興味をもつポイントが、これまで伝えていたポイントとずれている場合があることが明らかとなった。

地域の歴史文化資源を次世代につなぐためには、市内の児童生徒や学生の興味・関心を高めることが必要との意見が多くあげられ、今後、広く市民を巻き込み、歴史文化資源が市民の誇りとして共通認知され、活用されていくためには、特に若い世代が参加しやすいあり方を模索する必要があることが明らかとなった。

● 歴史文化資源の所有者・保存活動参加者は、もっと知ってもらいたいと感じており、観光資源としての活用も意識している

事前アンケート「地域の宝トップ 10」では、従来の文化財だけでなく、公園、観光施設、田園風景、自然環境など、観光的な資源も挙げられた。また、周遊コースの整備など、観光的な活用案も多く挙げられた。

このことは、市民が地域の歴史文化資源に対して、歴史的に価値があるもの、大切に守るもの、という考え方に留まらず、対外的にアピールするものとして捉えていることが分かった。

● 地域で市民が大切に思い、つないできた未指定の歴史文化資源が多数存在するものの、維持管理に苦慮している

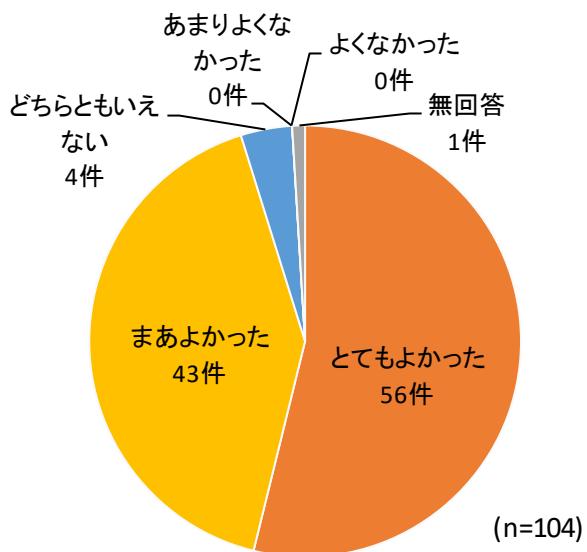
事前アンケートでは未指定の資源が多く挙げられ、自主的に調査・維持している活動が見受けられたが、総じて資金不足、人手不足等に困っている様子が見えられた。

● これまで歴史文化資源の保存に取り組んできた地域では、維持管理費用の不足や後継者の不足など、体制維持に関して課題を感じている

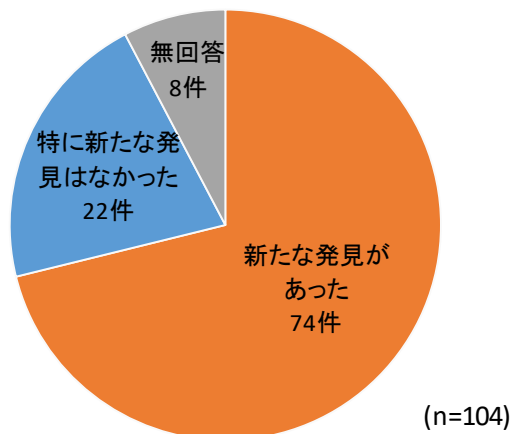
歴史文化資源の保存・維持・活用には費用がかかることが大きな課題として挙げられ、市主導による保存・維持の要望があった。しかし、本ワークショップで他地区も同じような悩みを抱えていること、他地区ではどのように解決したかを知ること、学生からの新しい仕組み(クラウドファンディング等)、新しいツール(動画配信等)の提案などを通じて、市民自身の力で出来ることに気づいた地域もあった。多様な主体が参画することによって、新しい視点が開かれ、体制維持の可能性を高めることが推察された。

■ 事後アンケートの結果

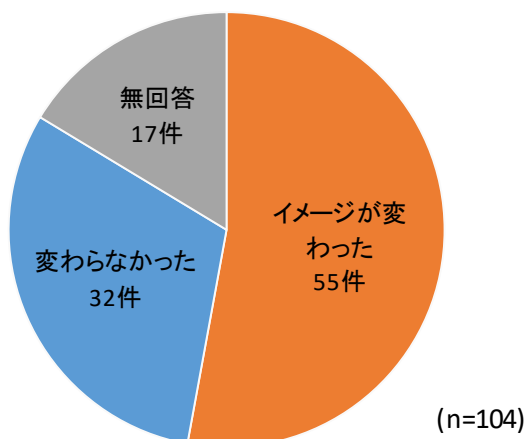
【ワークショップの感想】



【ワークショップを通じた新たな発見】



【ワークショップを通じた宇都宮市の歴史文化資源に対するイメージ】

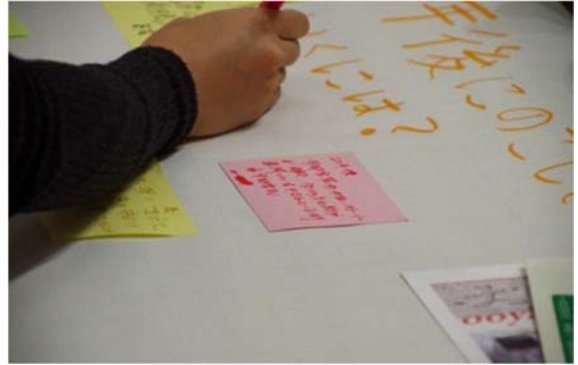


■ ワークショップの様子

【地区会／南西部】



【地区会／北部】



【地区会／中央部】



【地区会／東部】



【全体会】



(5) 歴史文化資源の種類とデータベースの構築

総合的把握の方針に基づき歴史文化資源を収集した結果、データベースへの掲載件数は、3,893件となった。

また、歴史文化資源の分類及び分布状況は下図の通りとなった。なお、このデータベースは、これまで文献等で明文化されたものを中心に収集したものであり、これ以外にも未発掘の資源が多数あると思われる。今後は、市民が大切に思う地域の宝の発掘を進め、データベースに追加していくことにより、本市の歴史文化の特徴がさらに鮮明になっていくものと考えられる。

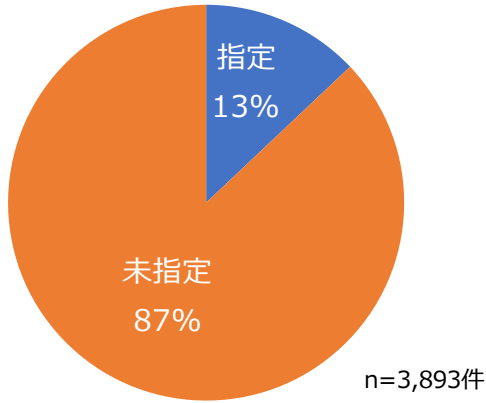
■歴史文化資源の分類

大分類	中分類	小分類	件数		
A 空間資源 (不動産)	1 自然的空間資源	1-1 地形・地質	17		0%
		1-2 河川・沼	35		1%
		1-3 山	14		0%
		1-4 気候・風土	-		-
		1-5 植生（生息する動植物等を含む）	12		0%
		1-6 名木	159		4%
		1-7 その他（自然的空間要素）	31		1%
	2 歴史的空間資源	2-1 道	62		2%
		2-2 宿・駅	11		0%
		2-3 軌道（水運、用水）	24		1%
		2-4 建造物	308		8%
		2-5 街並み・建造物群	32		1%
		2-6 古墳・塚	39		1%
2-7 城跡・遺跡		49		1%	
2-8 寺院・神社・祠等		416		11%	
2-9 旧跡		52		1%	
2-10 土木構造物		21		1%	
2-11 町名・地名・屋号		89		2%	
2-12 埋蔵文化財包蔵地（上に含まれないもの）		32		1%	
2-13 その他（歴史的空間要素）		-		-	
B 生活資源 (動産)	3 ヒト・生き物	3-1 人物	324		8%
		3-2 生き物	-		-
	4 コト（無形要素）	4-1 祭礼	180		5%
		4-2 芸能	20		1%
		4-3 民間信仰・年中行事	147		4%
		4-4 産業・生業・手仕事	24		1%
		4-5 伝統食	4		0%
		4-6 その他（コト）	4		0%
	5 モノ（有形要素）	5-1 美術品	176		5%
		5-2 工芸品	60		2%
		5-3 金属工芸品	60		2%
		5-4 仏像・石仏	87		2%
		5-5 絵馬・版木	53		1%
		5-6 道祖神・道標・碑	92		2%
		5-7 墓所・墓石	55		1%
		5-8 祭礼・芸能にまつわる道具	89		2%
		5-9 生業・産業にまつわる道具	40		1%
		5-10 考古資料	13		0%
		5-11 その他（モノ）	100		3%
	6 記録・情報 (情報要素)	6-1 文献資料	511		13%
6-2 絵図		7		0%	
6-3 民話・伝説・出来事		135		3%	
6-4 写真		306		8%	
6-5 地図		2		0%	
6-6 その他（記録・情報）		1		0%	
総計			3893		

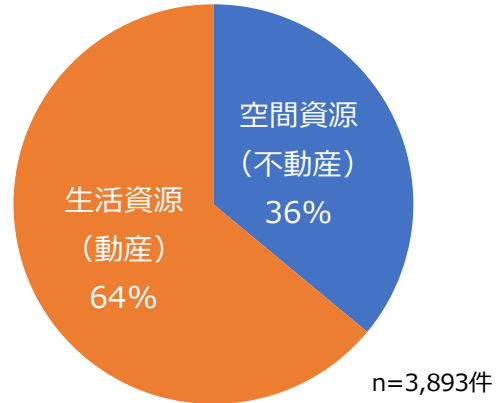
※埋蔵文化財包蔵地は680件確認されているが、そのうち一部のみ上記データベースに含んでいる。

- 約 3,800 件の資源のうち、指定文化財が約 1 割、未指定が約 9 割を占める。
- 空間資源と生活資源では生活資源(動産)の方が多く 64% を占める。
- 中分類別では「歴史的空間資源」が 29% と最も多く、次に「記録・情報」が 25%、「モノ(有形要素)」が 21% となっている。

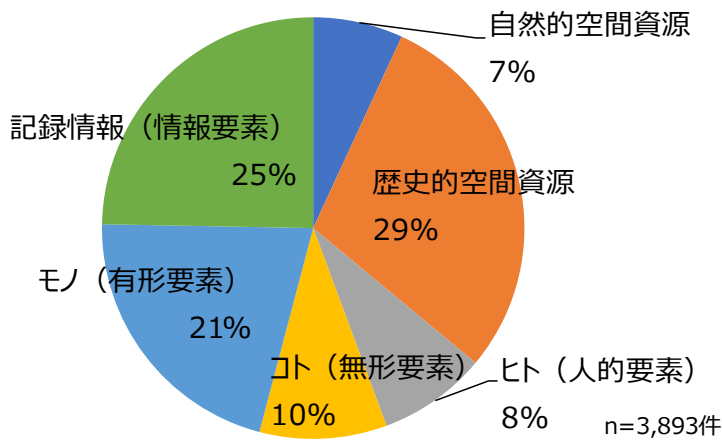
■ 指定・未指定別



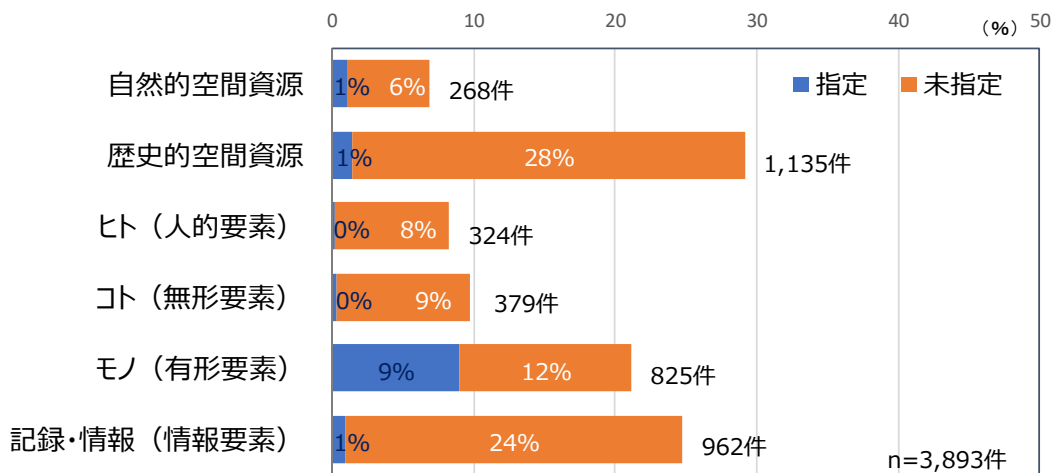
■ 大分類別



■ 中分類別

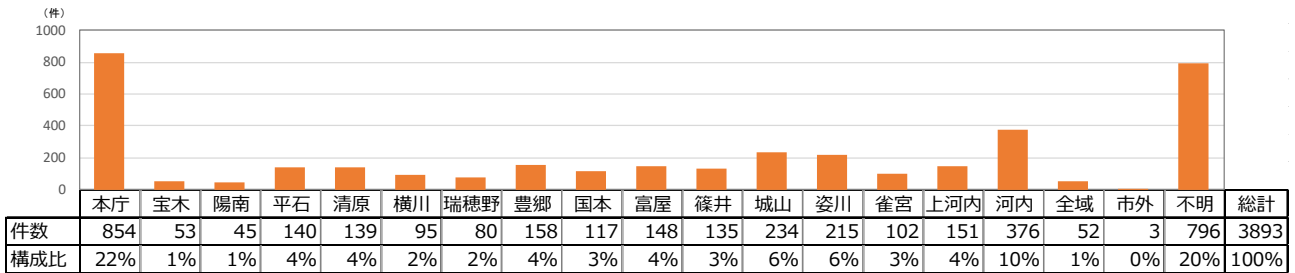


■ 指定・未指定×中分類別



■地区別

- 地区が不明な資源を除くと、約 4 分の 1 が本庁エリアに所在する。



■データベース画面

NO,	名称	所在地	時代	緯度	経度	指定	概要	文化財マップ	宇都宮の旧跡	河内町の屋台	地区	大分類	中分類	小分類	人物1
1	鉄塔婆	大通り5丁目鎌倉		36.56	139.9	国	宇都宮城主の宇都宮貞綱が亡母	●	●		本庁	生活	モノ	5-3	宇都宮貞綱
2	旧篠原家住宅(主屋・	今泉1丁目	明治	36.56	139.9	国	●宇都宮で有力な商家であった旧	●			本庁	空間	歴史	2-4	篠原家
3	岡本家住宅(主屋・長	下岡本町		36.59	140	国	●江戸時代中期建築の農家住	●			河内	空間	歴史	2-4	岡本家
4	小野口家住宅(長屋門・	田野町	江戸	36.6	139.8	国	●小野口家は、江戸時代より名主	●			城山	空間	歴史	2-4	小野口家
5	宇都宮中央女子高校赤	若草2丁目	明治	36.58	139.9	国	●1907年に宇都宮への旧陸軍第	●			宝木	空間	歴史	2-4	
6	宇都宮白楊高校旧講堂	元今泉8丁目	明治	36.56	139.9	国	●宇都宮白楊高校旧講堂は、1				本庁	空間	歴史	2-4	
7	宇都宮白楊高校正門	元今泉8丁目	明治	36.56	139.9	国	●宇都宮白楊高校正門は、構内				本庁	空間	歴史	2-4	
8	旧大谷公会堂	大谷町		36.59	139.8	国	★大正末期から昭和初期にかけて	●			城山	空間	歴史	2-4	更田時蔵
9	雨情茶屋離れ(野口雨	鶴田町	昭和	36.56	139.8	国	★北原白秋・西条八十とともに、わ	●			姿川	空間	歴史	2-4	野口雨情
10	宇都宮市立公会堂	上岡本町		36.61	139.8	国	★大正四年(一九一五)建設の				富屋	空間	歴史	2-10	

■データベース入力項目と入力上の注意

名称

所在地

時代 分かる範囲で入力

座標 所在が分かる資源については座標を入力

指定 国指定, 県指定, 市指定, 重要文化財, 未指定の別を入力

概要 文献に記載の内容を入力。複数の文献に掲載されていれば複数分の内容を入力

出典 1 文献に対し 1 列用意, 該当資源に●を入力。複数の文献に掲載あれば複数●

地区 所在地から判別し, 16 地区のうち該当地区を入力。全域の場合や不明の場合あり

分類 資源の内容から, 該当する分類を入力

人物 その資源に由縁のある人物名を入力。複数ある場合は人物 1~6 まで分けて入力

※ 資源の重複を気にせず入力したうえで、「地区」等でフィルタをかけ、重複を判断。重複した場合は「分類」欄に「重複」と入力し、資源数としてカウントしないようにした

※ 所在地の住所が町名までしか分からない場合、町の代表地点の座標を入力した

※ 人物について、1 資源として文献から抽出されている場合もあるが、それだけでは不足していると考えられたため、ある資源に由縁のある人物があれば、人物名を抽出した。人物の資源数のカウントは、重複を排除して集計し、別途人物リストを作成しカウントした

(6) その他に把握されている本市特有の資源

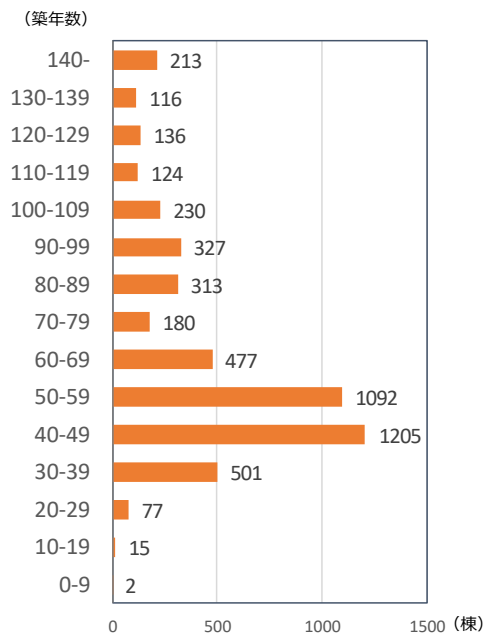
本市には、大谷町を中心に産出される大谷石を用いた建造物が数多く存在しており、市内全域に点在している。これら大谷石建造物は、本市特有の歴史的文化的価値を有する資源と考えられ、特に棟数の多い石蔵について、老朽化に伴う取り壊しの懸念があることから、今後の保存・活用のあり方を早急に検討する必要があるとしている。

- 市内には約 9,000 棟の大谷石建造物が存在する。
- 大谷石建造物の用途は 55% が倉庫、つまり石蔵であり、50 年以上経過した石蔵は約 3,300 棟。
- 全体の大谷石建造物のうち約 3 分の 1 を 50 年以上経過した石蔵が占めている。
- 老朽化等により、この 10 年間で約 1 割の石蔵の減失が確認されている。

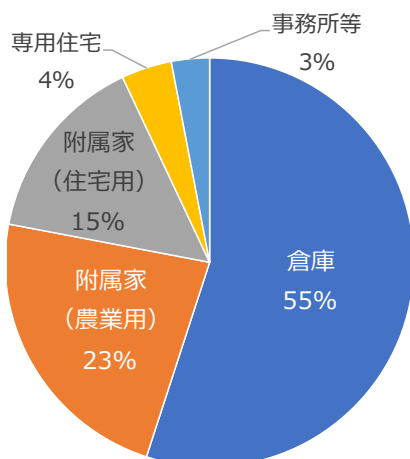
■ 大谷石建造物の棟数

地区名	50年 以上	50年 未満	合計
上河内	116	1,106	1,222
河内	80	1,103	1,183
城山	684	398	1,082
本庁	475	274	749
姿川	271	298	569
国本	298	254	552
平石	283	263	546
横川	274	255	529
豊郷	272	248	520
瑞穂野	241	195	436
清原	192	198	390
畠屋	183	176	359
雀宮	173	171	344
篠井	128	140	268
宝木	109	134	243
陽南	16	83	99
総計	3,795	5,296	9,091

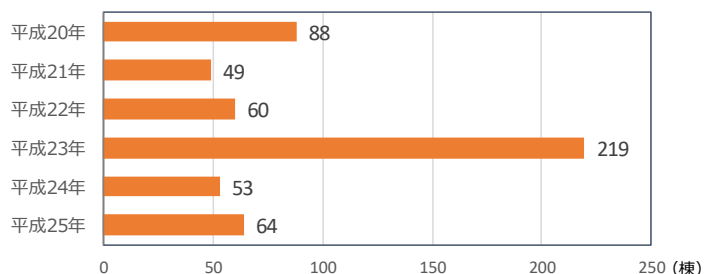
■ 市内の石蔵の築年数



■ 大谷石建造物の用途別分類



■ 過去 6 年の石蔵の減失件数



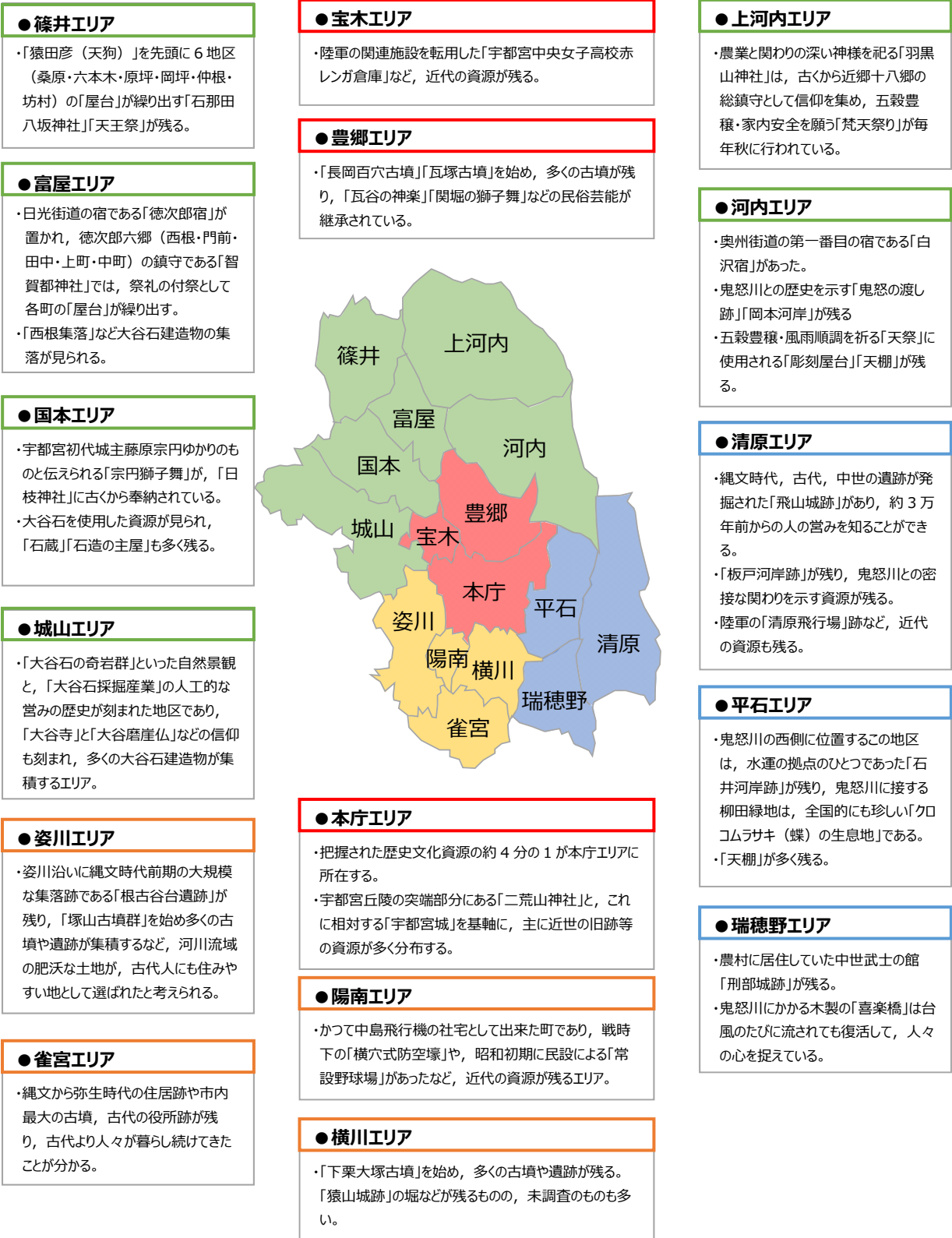
【出典】歴史的建造物の保存・活用との方策に関する調査研究
市政研究センター（平成 26 年度）

(7) 地域ごとの歴史文化資源の特徴

各地域の主要な歴史文化資源を見ると、各地域には次のような特徴がみられた。

※各地域に所在する歴史文化資源のリストは参考資料に掲載

※色分けは本市を大きく4つのブロックに分けた場合の区分を示しており、ワークショップ地区会を開催した単位と同じ



3. 歴史文化の特徴

本市の歴史文化の特徴を適切に捉え、凝縮した言葉で表現することは、市民の理解を促し、地域の歴史文化への関心を高めるとともに、歴史文化資源の保存・活用に大きく貢献すると考えられることから、本市の歴史文化の特徴を明らかにするための検討を行った。

(1) 検討の進め方

本市の歴史文化の特徴を検討するにあたり、次の2つの視点から検討を進めた。

①時系列的な特徴の把握

主な歴史的事実と歴史文化資源との関連や時代毎の特徴、時代を貫く特徴を把握する。

②GISを活用した空間的な特徴の把握

自然的空間要素と歴史的空間要素との関連の把握や歴史文化資源の粗密、地域の特徴を把握する。

(2) 特徴把握のための検討方法

縦軸に時代区分、横軸に「政治」「信仰」「文化」「流通・交通」「産業」「生活」など、人間の営み領域を設定し、時系列的な特徴の把握を行ったところ、本市の歴史文化を語るうえで欠かせないキーワードとして、次のようなものが抽出された(「**■**宇都宮市における歴史文化の流れと特性把握」参照)。

また、歴史文化資源データベースの資源と自然環境要素を重ねて地図に表示することによって、次のような空間的な特徴が明らかとなった(「**■**空間的な特徴把握」参照)。

①時系列的な特徴(時代×営み領域のマトリクスによって検討)

キーワード

河内郡、二荒山神社、宇都宮氏、宇都宮城、陸路、河岸、宝木用水、軍都、大谷石、天祭、菊水祭 など

②空間的な特徴(地図化によって検討)

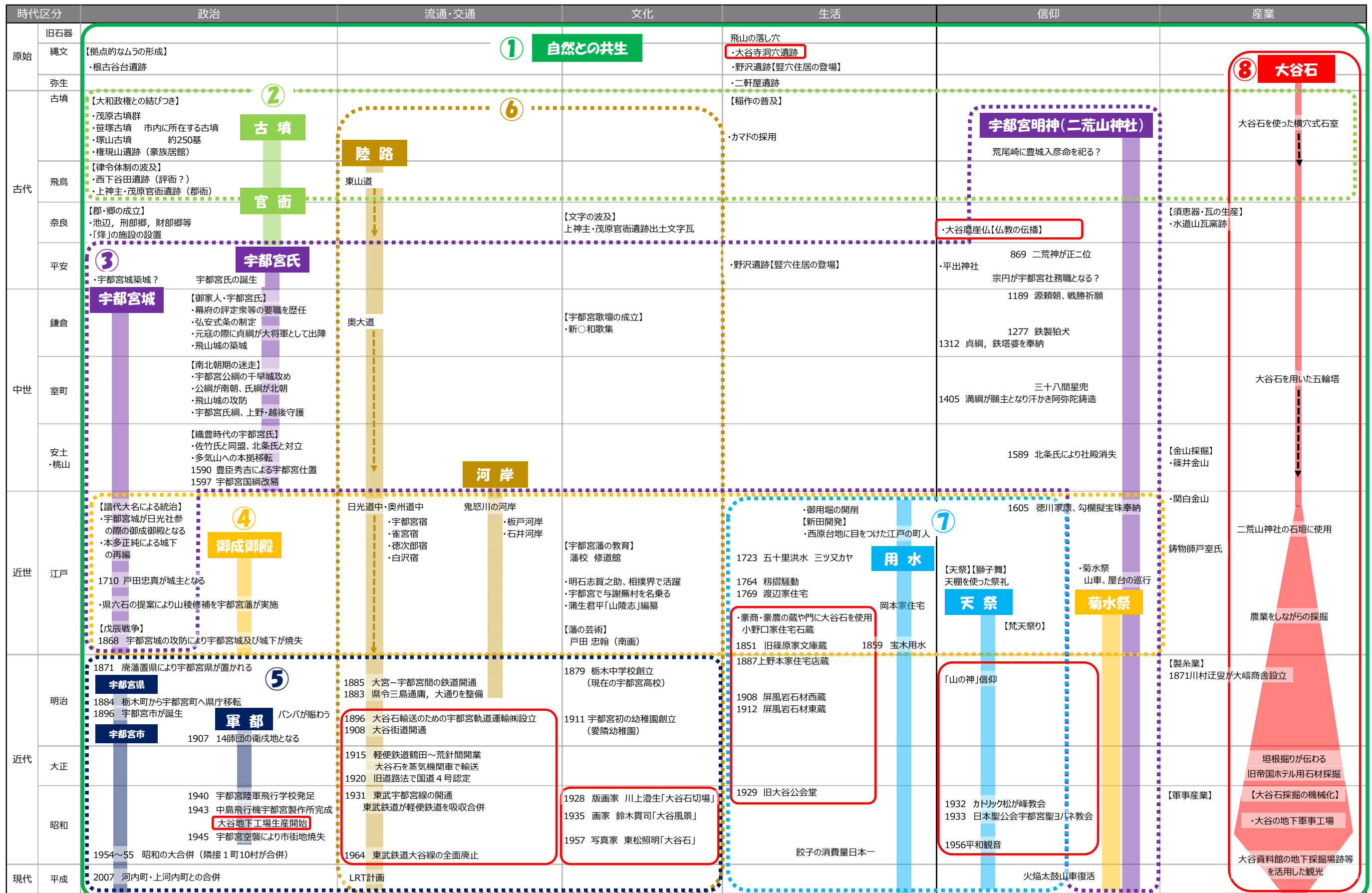
市域全体の特徴

市域に多様な地形を包含する、古代からの豊かな交通環境を有する複数の拠点があり、交通網で繋がれる。

地域的に見出せる特徴

縄文や古墳時代の遺跡密集地域、宿のあった地域、戦災にあわなかった地域など

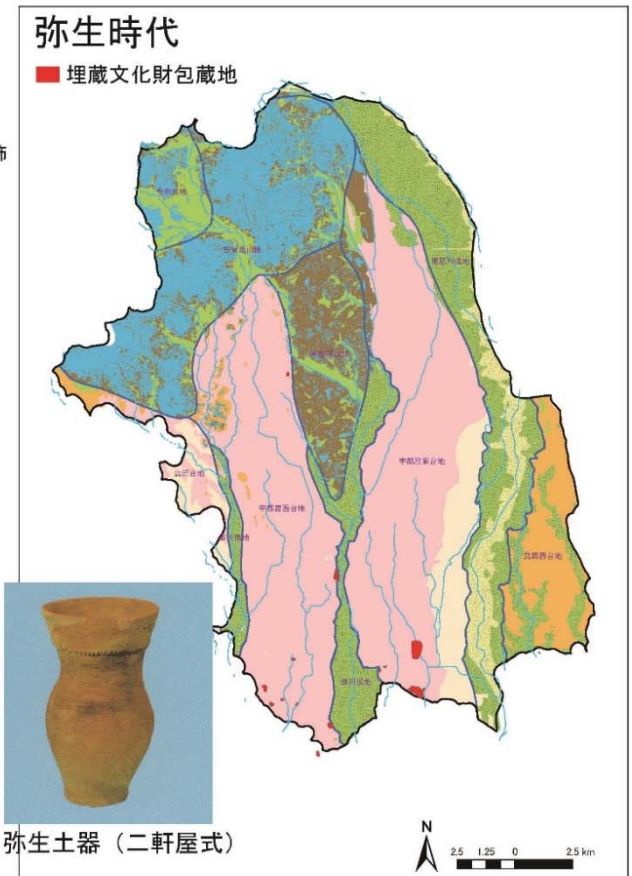
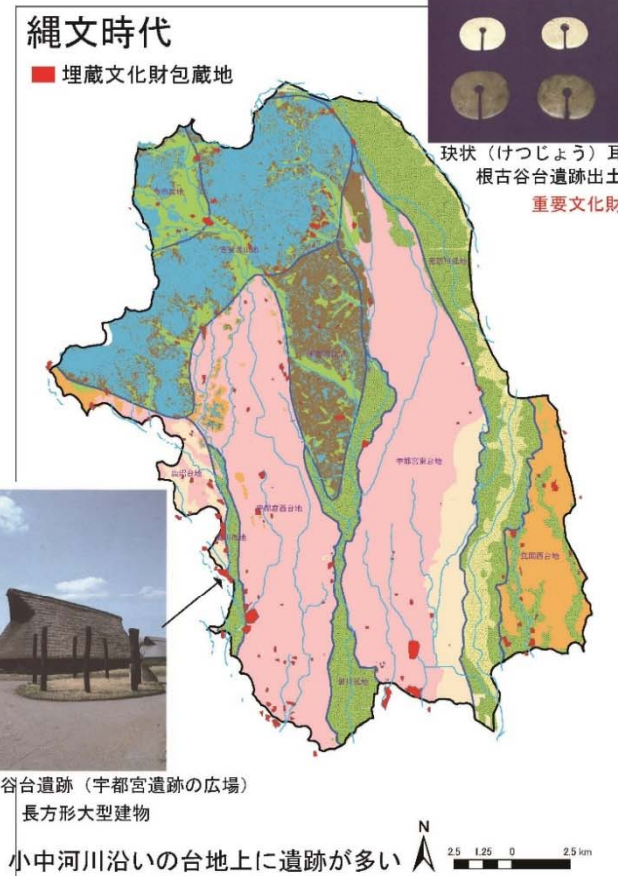
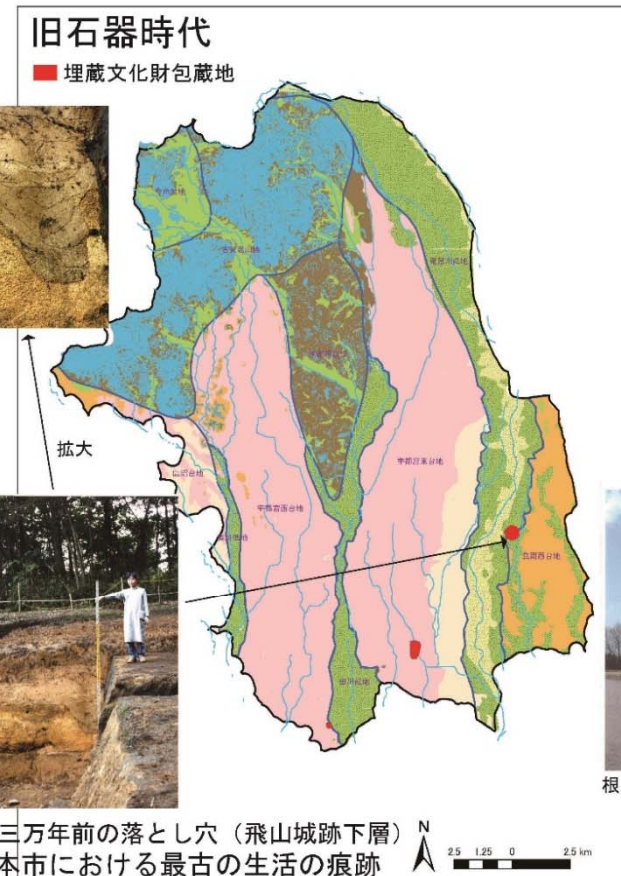
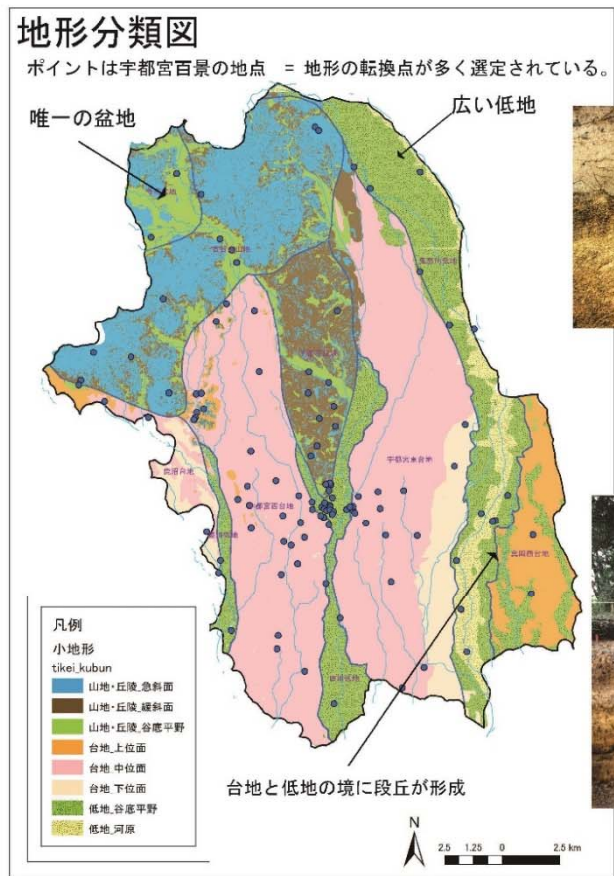
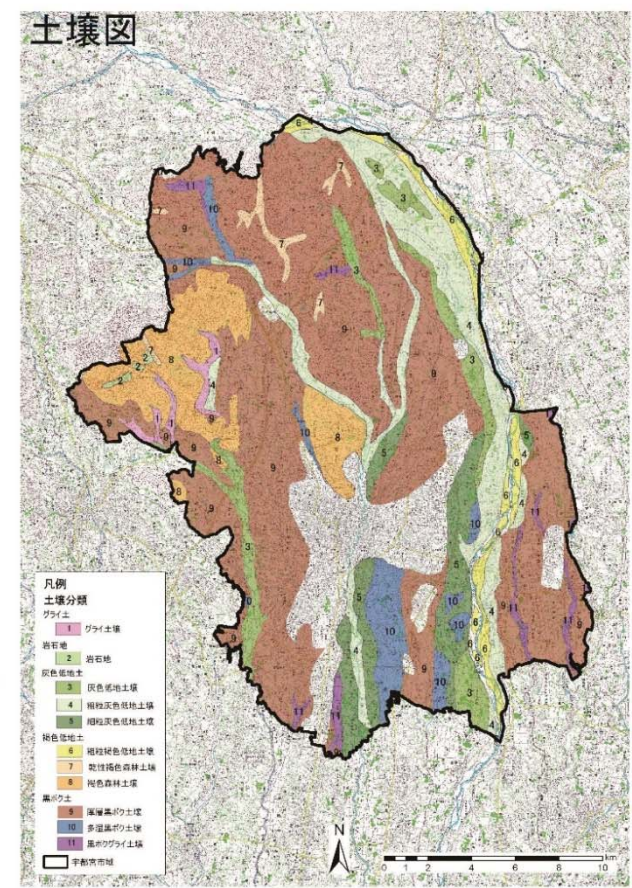
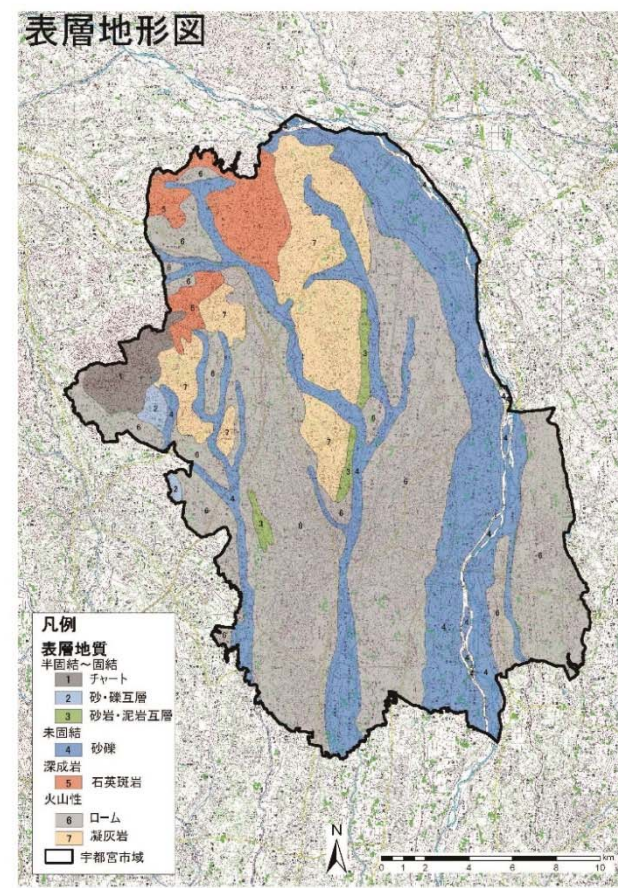
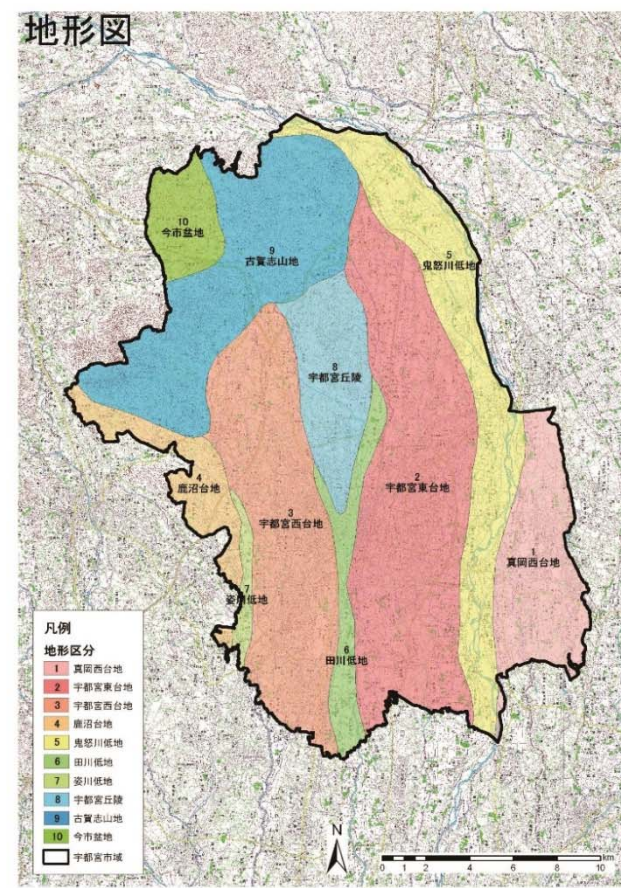
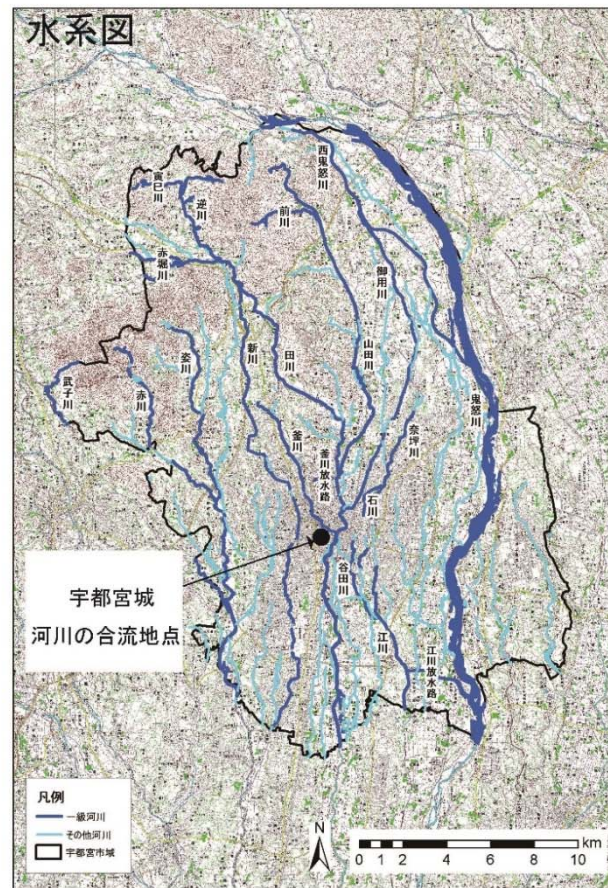
■宇都宮市における歴史文化の流れと特性把握



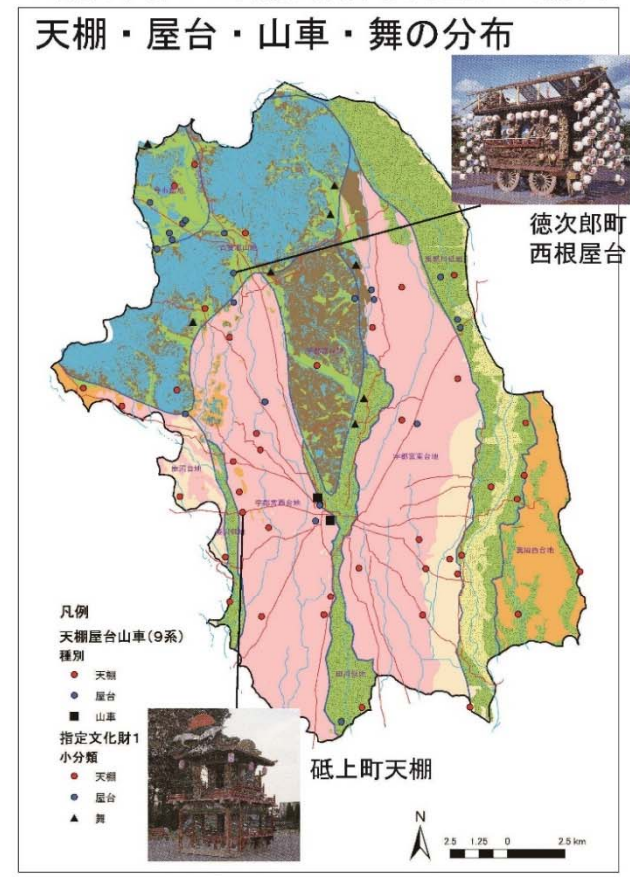
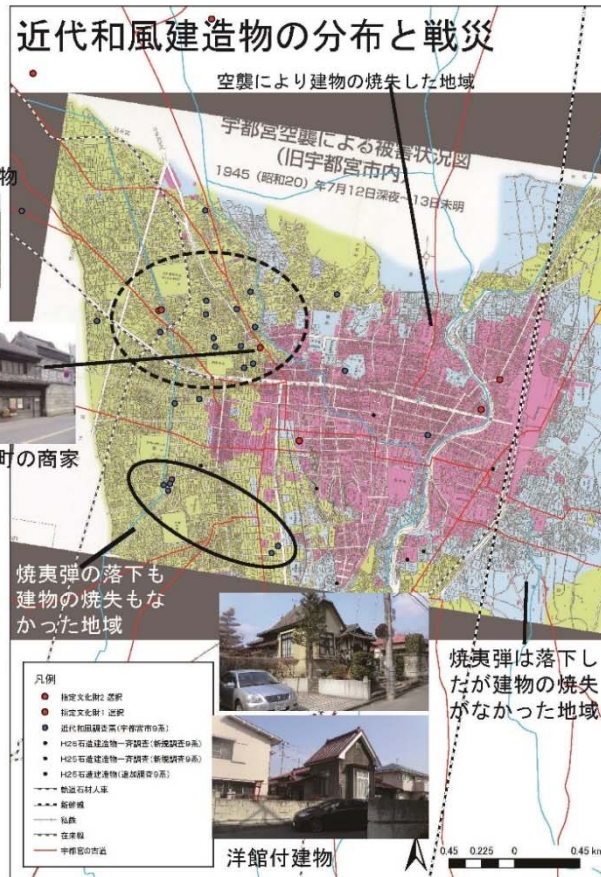
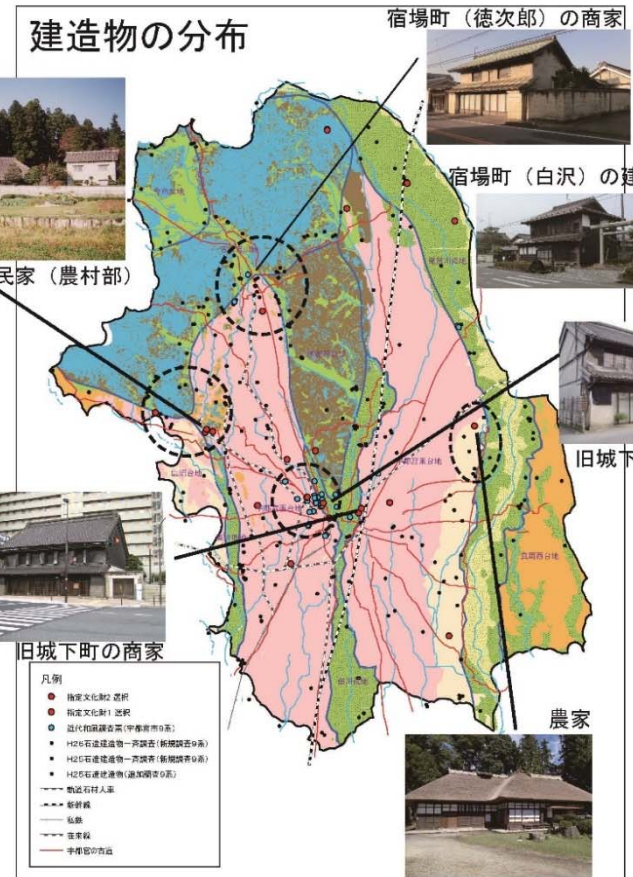
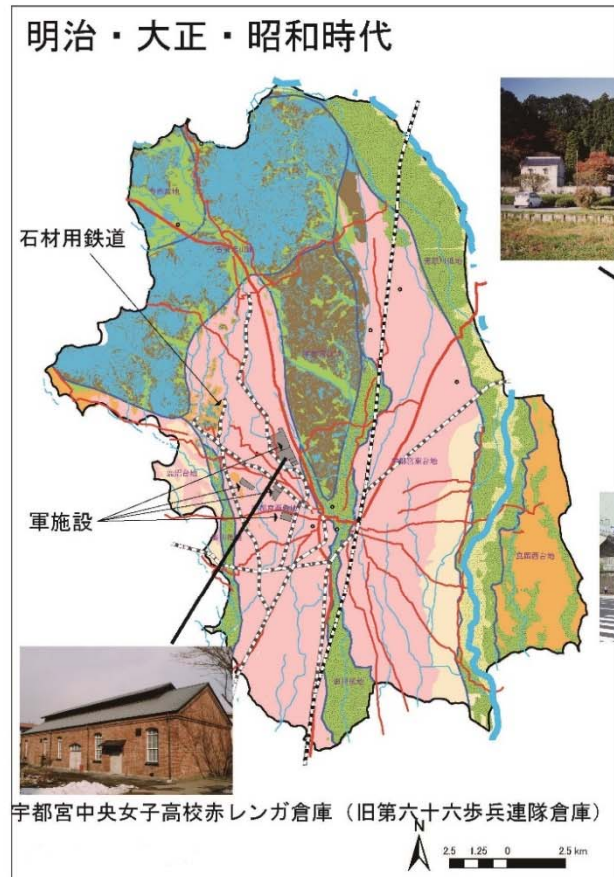
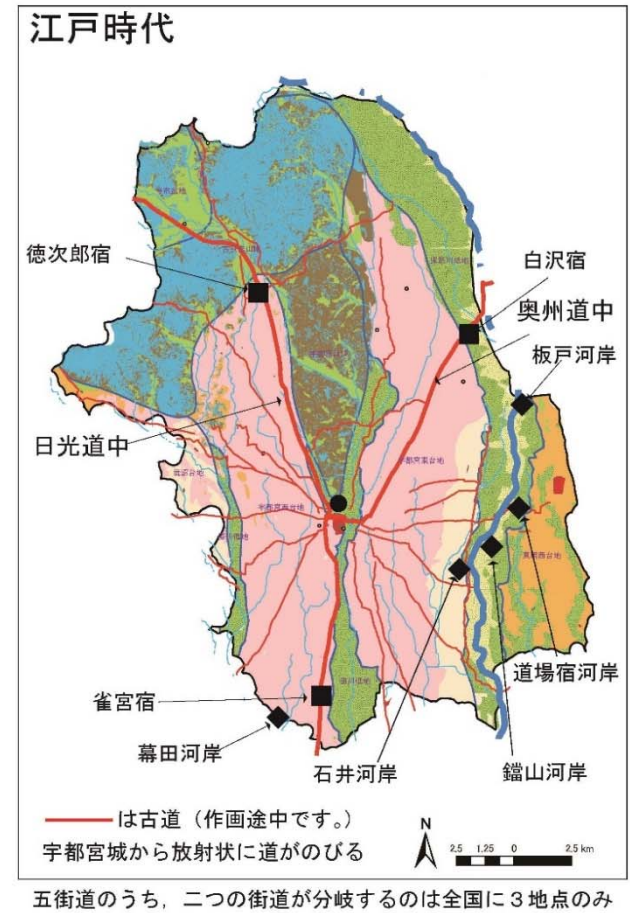
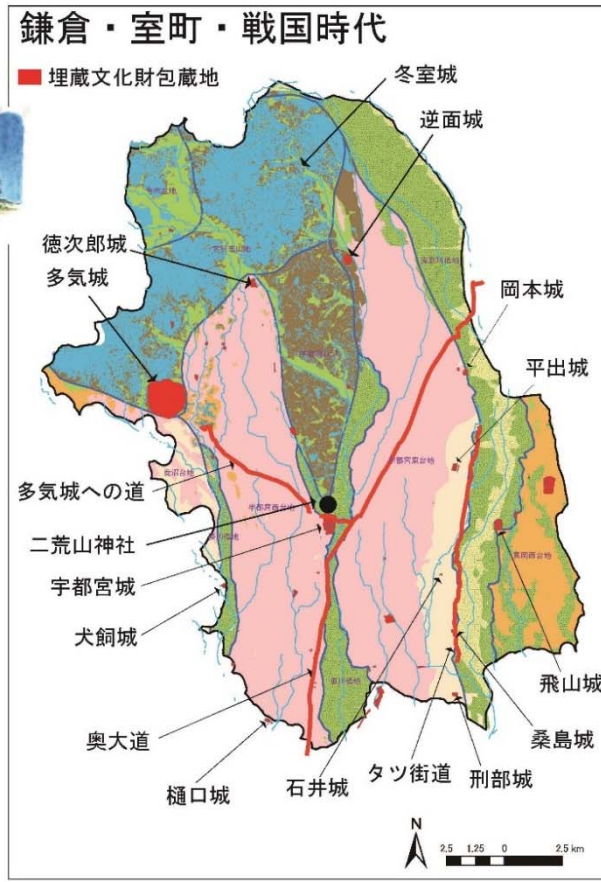
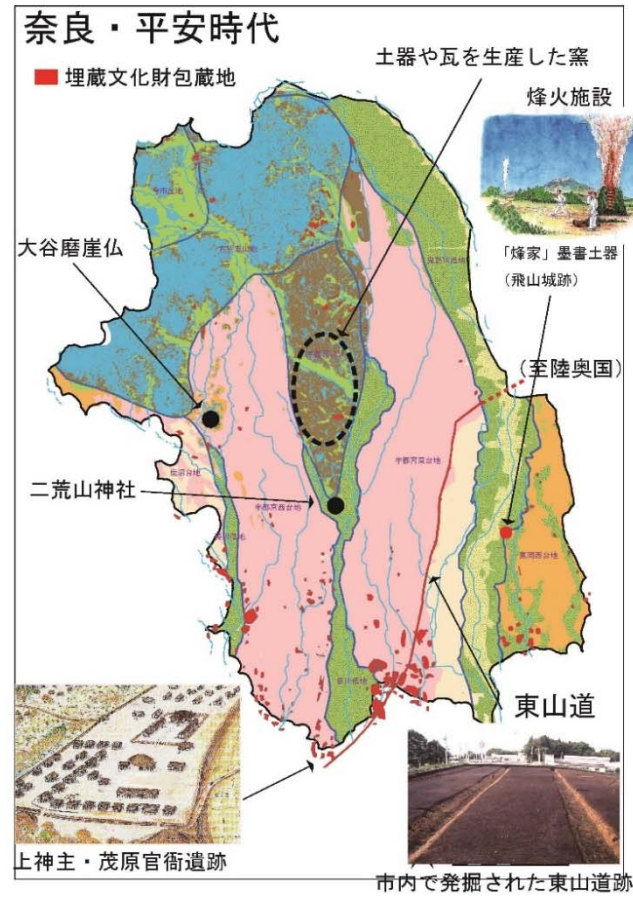
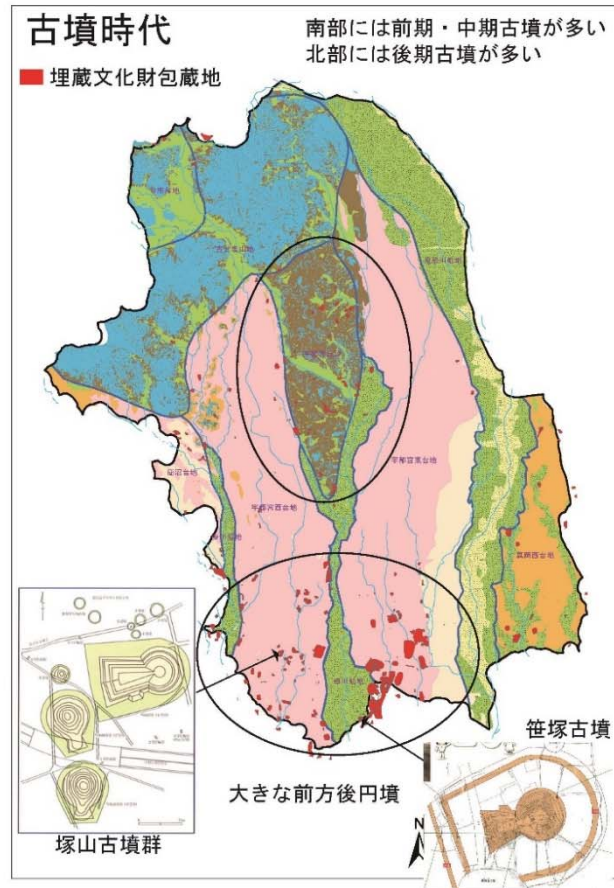
※中世と近世の画期については、①1568年信長の上洛 ②1590年秀吉の全国統一 ③1603年江戸幕府の成立等諸説があるが、ここでは③の説に従った。

※ は大谷石に関連する歴史事項

■空間的な特徴把握－1 地形図，旧石器時代～弥生時代までの歴史文化資源の分布



■空間的な特徴の把握－2 古墳時代～近代までの歴史文化資源の分布



(3) 宇都宮市の歴史文化の特徴

これまでの検討から、本市の歴史文化の特徴として、以下のキーワードを抽出した。

ア 歴史の流れを軸とした特徴

- 古代における「河内郡」の設立 …… キーワード「古墳」「官衙」②
- 中世宇都宮氏の栄枯盛衰 …… キーワード「宇都宮城」「宇都宮氏」「二荒山神社」③
- 城下町宇都宮の成立と発展 …… キーワード「御成御殿」「菊水祭」④
- 内陸の交流拠点宇都宮 …… キーワード「陸路」「河岸」⑥
- 軍都宇都宮と近代化 …… キーワード「県都」「軍都」⑤

※丸数字は「■宇都宮市における歴史文化の流れと特性把握」と対応

イ 面的な拡がりを軸とした特徴

- 自然環境と共生した古代人の暮らし …… キーワード「自然との共生」①
- 新田開拓の歴史と農村の祭り …… キーワード「用水」「天祭」⑦
- 大谷石が生み出した歴史と文化のまち …… キーワード「大谷石」⑧

※丸数字は「■宇都宮市における歴史文化の流れと特性把握」と対応

上記の点を踏まえ、本市の歴史文化の特徴は以下の8点に整理することができる。

■宇都宮市の歴史文化の特徴

- 〈1〉 安定した地盤、自然災害の少ない土地柄から住みやすいまち
- 〈2〉 宇都宮明神と宇都宮城を軸として発展してきたまち
- 〈3〉 古代～現代にかけて主要な幹線道路が通り、昔から人・物・情報の交流が盛んなまち
- 〈4〉 大谷石に関する歴史文化資源が多数存在するまち
- 〈5〉 南部地域に栃木県を代表する古代の史跡が多く集中するまち
- 〈6〉 江戸時代に將軍の御成御殿が設けられるなど、城下町として華やいたまち
- 〈7〉 近代以降、軍都・県都として発展してきたまち
- 〈8〉 農村部の田園地帯を中心に多くの伝統文化が今に伝わるまち

■宇都宮市の歴史文化のキーワードと特徴

<キーワード>	<宇都宮市の歴史文化の特徴>
① 自然との共生	〈1〉 安定した地盤，自然災害の少ない土地柄から住みやすいまち
③ 宇都宮城 宇都宮氏 宇都宮明神 (二荒山神社)	〈2〉 宇都宮明神と宇都宮城を軸として発展してきたまち
⑥ 陸路 河岸	〈3〉 古代～現代にかけて主要な幹線道路が通り，昔から人・物・情報の交流が盛んなまち
⑧ 大谷石	〈4〉 大谷石に関する歴史文化資源が多数存在するまち
② 古墳 官衙	〈5〉 南部地域に栃木県を代表する古代の史跡が多く集中するまち
④ 御成御殿 菊水祭	〈6〉 江戸時代に将軍の御成御殿が設けられるなど，城下町として華やいたまち
⑤ 県都 軍都	〈7〉 近代以降，軍都・県都として発展してきたまち
⑦ 用水 天祭	〈8〉 農村部の田園地帯を中心に多くの伝統文化が今に伝わるまち